

光るソフトウェア工学研究

井上 克郎¹

講演概要

ソフトウェア工学の研究は、時代とともに大きく変化している。社会に占めるソフトウェアの重要性が増し、新しいソフトウェアの開発、保守に関する技術が開発・普及してきている。講演者は学部学生の時代にこの世界に踏み込み、その時代時代のいろいろな研究テーマ、いろいろな研究形態を体験してきた。その中には、研究過程やその成果が大変うまくいったと思う光る例も少しあり、また、数多くの失敗、落胆も重ねてきた。本講演では、自身の研究の光と影を振りかえるとともに、ソフトウェア工学分野において、光るとは何か、どうすれば光るのか、というRQに対して、研究テーマ、コードと論文、国際共同研究、研究と教育、日本や世界の大学の現状など、いろいろな観点から分析を試みる。

¹ 大阪大学 大学院情報科学研究科 教授, 産業技術総合研究所 情報技術研究部門 特定フェロー